



日本共産党文京区議会議員
まんだち幹夫通信
2012年 夏号

「みなさんをいつもまんなか」

■区議団控室：5803-1317 (直通) **なんでも気軽に
ご相談ください**
■事務所：文京区小石川2-23-7
Tel・Fax 3868-8355
メール：mandachi@jcp-bunkyojudan.gr.jp

許せない! 消費税増税、社会保障改悪



国会 軽視の「民主・自民・公明の談合政治」に怒りの声
民主・自民・公明3党が「密室談合」を重ね、消費税を10%に引き上げ、社会保障の大改悪を押し付ける「一体改革」関連法案を衆議院で強行採決したことに怒りの声があがっています。
「増税されたら廃業しかない」「震災復興に冷や水を浴びせる」など増税反対の世論は日本中にあふれています。「4年間は上げない」との自らの

第二回定例区議会で消費税増税に対して区長は、「区民や区政へもさまざまな影響があるものと認識」しているが「引き上げを行わないよう国に求める考えはない」との冷たい回答でした。
また、総額7,100万円(その後見直し)もの新たな区民負担となる使用料・利用料の値上げの撤回を求めたのに対し、「計画を着実に推進していくことが、より質の高い効率的な行政体制を構築することにつながり、区民生活の

向上に寄与する」と強弁。受益者負担について「特定のサービスを利用する方にコストの一部を負担していただくことにより、サービスを利用しない方との間の負担の公平を図る」と言いました。社会保障とは何なのか、税金の納め方と使い方はどうあるべきか、が問われています。
こんなときどきかたが
区として暮らしたと営業支援に全力をあげるべきなのに



今年度、希望した認可保育園に入れなかった児童が317人、認証保育園など認可外の保育所なども含めても入園できなかったのが111人でした。
驚いたのは、保護者の労働形態が「常勤」であっても43人(応募者の6.6%)、昨年(4.2%)より増えたこと。5歳児の認可保育園が予定されていますが、さらに急いで増設が必要です。

白山ひかり保育園が開園したが「保育計画」の大幅見直しを
この先2年間で400人以上の定員拡大をめざす方向です。6月、指ヶ谷小学校近くに、認可保育園「白山ひかり保育園」(定員60名)が開設しました(上写真)。9月には湯島に3歳児の認可保育園が予定されていますが、さらに急いで増設が必要です。

生活・法律相談
◆まんだち幹夫事務所
文京区小石川2-23-7
TEL 3868-8355
◆小竹ひろ子事務所
(文京区白山3-2-5)
TEL 3815-9301
お気軽にご連絡ください。

まんだち幹夫 かけある記

- ◆5月26日 礪川小の運動会。児童数が増えて見応えがあります。騎馬戦は圧巻。俊敏な動きは、さすがに子どもです。楽しめました。
- ◆6月8日 区議会開催。午前、議会運営委員会。午後、全員協議会、本会議。区長提案の議案8件、事件案1件が上程。今回も1件議員提案をしました。夜、区民センターで(写真)演説会でした。(写真)右から吉良、笠井、桑名文彦衆院予定候補
- ◆6月22日 私の所属する総務区民委員。真砂市場について、外国人登録の廃止による外国人住民登録の件、コミュニティバスなどについて審議。議案6件と請願4件の審議もあり5時過ぎまでかかりました。



1300mのカルスト台地につくられた風力発電所



再開地域(破線内)

はどうか、近隣の住環境に与える影響は、また、約500台の車が出入りする交通障害はないか。課題は解決されているとは思えません。また、数十年にわたって営業されてきた事務所、小売店などの借家人への説明は、まったく不十分です。課題解決が最優先です。

「ハイヒールが突っかって転んじゃう」後楽園駅出入口の舗装 すぐに改修に

朝の宣伝を定期的に行う後楽園駅。ある日一緒にピラを配っている方から、「地面が穴だらけで危険」という指摘を受けました。さっそく、みどり公園課に掛け合うと、改修はなかなか難しい—とのことでしたが、数日後、応急改修をしてくれました。とりあえずひと安心です。



原発ゼロの日本へ 高知・梶原町の自然 エネルギー活用を視察
梶原町は、四国山地の真ん中、愛媛県境の90%が森林の町です。まず役場を訪問し、矢野町長さんと一時間、町長からエネルギーの自給化を追求しており、町長はその政策を一気に説明し、その後質問にも答えてくれました。「まちづくり計画をコンサルタントに依頼せず、町民参加で作成し実践」(農林業を



地域防災力の強化に 区として最大の支援を

6月16日、礪川小学校で避難所開設訓練が行われました。午前7時過ぎに集合して会場のテント張りなどの準備。9時から避難所運営訓練が始まり、スタッフとして活動しました。応急処置、簡易トイレ組み立て(下写真)や消火器、起震車体験などいくつかをスタンプラリー方式で子どももおとなも体験します。

これは貴重な訓練ですが、今年はこの訓練への予算増額はありませぬ。「せめて年2回の訓練ができる予算を…」か要望が望まれています。



簡易トイレを組み立てる様子